

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会だより

第11号

2005年2月1日

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会発行

<http://homepage3.nifty.com/biotope/index.html>

発行責任者： 篠崎 将

Tel/Fax: 04-7173-6353

第3回総会なごやかに終了

1月23日(日)中央公民館集会室に於いて第3回総会が開催されました。当日は環境保全課から田村主幹、橋爪課員、名戸ヶ谷小学校より阿部先生が出席され、次の3議案が提出されて、全て承認されました。

第1号議案 2004年度活動報告及び2005年度活動予定

第2号議案 2004年決算、監査報告及び2005年予算案

第3号議案 会長、副会長、幹事の選任

ビオトープを育てる会の活動も3年目に入り、2年間の活動の結果からAゾーン、Bゾーンとも整備を行うことになりました。資材の調達等は環境保全課に支援をお願いしながら、労力は会員の手により行う予定です。会員の皆様のご協力をお願い致します。総会でも申し上げましたが、ビオトープで1年間に観察される湿生植物は54種、昆虫や両生類や鳥などの動物は80種以上に達しています。整備の目的は生きものが更に住みやすくなるとともに、より多くの人たちに観察していただくためです。整備を行うことにより、今までより多くの植物や



動物が住みついて観察できるようになり、市民や子供たちが訪れることを期待しています。また、今回初めて、総会後に部会別懇談会を設け、会員相互の交流・話し合いの場を持ちました。

なお、ビオトープの隣接地にお住まいで、育てる会の会員でもある木村辰雄様より納屋を無償で貸していただくことになりました。ご好意に厚く感謝するとともに、大切にに使わせていただきたいと思います。(篠崎 将)

2005年役員紹介 (会長・副会長・幹事) - 50音順

会長 篠崎 将

・佐々木 光正(生きもの部会長「植物」)

副会長 三坂 俊明

・高田 昭治(事務担当)

・小笠原 智(水田稲作部会長)

・春山 秀雄(広報担当)

・影山 賢三(会計担当)

・松清 智洋(生きもの部会「生きもの」)

・才川 寿麿(不耕起稲作部会長)

・松本 徳重(ホタル部会長)

よみがえる柏の自然 : 自然環境と環境保全に取り組む市民団体の活動紹介

会期：2005年2月20日(日)～ 2月27日(日){2月21日(月)は休み}

時間：9：00～ 17：00{初日は12：00から 最終日は16：00まで}

会場：さわやか県民プラザ 2階 さわやかコーナー{C・Dブロック}

参加団体：柏市、沼南町、大堀川水辺をきれいにする会、柏ホテルの会、こんぶくろ池を考える会、さかいね下田の森自然公園友の会、名戸ヶ谷ビオトープを育てる会、牧場跡地の緑と環境を考える会

主催：さわやか県民プラザ普及課 Tel: 04 7140-8614

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会

2005年活動予定表(現時点判明分のみ)

	全般	不耕起稲作部会	水田稲作部会	生きもの部会	ホタル部会
05/01	1/23 第3回総会				・川幅を広げる作業
05/02	2/1 11号発行 2/5 定例幹事会 県民プラザ展示会 (2/20 ~ 2/27)	・周囲の溝作り ・苗の予約(佐原市の藤崎さんの苗)			・土手やホタルゾーンに植樹
05/03	3/5 定例幹事会	・周囲の溝作り ・畦の手入れ	・水田の畦作り	・釣り場・木道の整備	・植樹 ・学習会
05/04	4/1 12号発行 4/2 定例幹事会	・周囲の溝作り ・籾糠散布 ・畦の手入れ	・苗の予約 ・田起こし(耕耘機使用) ・代掻き	・大型植物の刈り取り	・カワナ飼育の講習会
05/05	5/7 定例幹事会	・田植え	・代掻き ・田植え	・生き物観察会	・光害を防ぐネット張り
05/06	6/1 13号発行 6/4 定例幹事会	・草取り	・雑草とり	・大型植物の刈り取り	・学習会
05/07	7/2 定例幹事会	・水落とし ・スズメ対策始め	・雑草取り(小学生参加)	・大型植物の刈り取り ・生き物観察会	・ホタルの鑑賞会 ・ホタルの採卵と飼育 ・カワナの放流
05/08	8/1 14号発行 8/6 定例幹事会	・水落とし	・スズメよけネット張り	・帰化植物の刈り取り ・生き物観察会	・各地のホタル鑑賞会への参加 ・ホタルの採卵と飼育
05/09	9/3 定例幹事会	・稲刈り ・脱穀	・ネットはずし ・稲刈り ・脱穀	・帰化植物の刈り取り	・除草作業 ・カワナの放流
05/10	10/1 15号発行 10/1 定例幹事会	・籾摺り ・精米 ・藁の散布		・清掃 ・生き物観察会	・川幅の補修作業 ・ホタルの幼虫の放流
05/11	11/5 定例幹事会 ・収穫祭	・米の配布 ・収穫祭	・収穫祭(小学生参加)		・学習会 ・川幅の補修作業
05/12	12/1 16号発行 12/3 定例幹事会	・籾糠散布 ・正月飾り作り	・田起こし	・年末大掃除	・川幅の補修作業
05/12	12/1 16号発行 12/3 定例幹事会	・籾糠散布 ・正月飾り作り	・田起こし	・年末大掃除	・川幅の補修作業

不耕起稲作部会

お正月用注連縄飾り作り

昨年に引き続き、今年も12月19日(日)に行いましたが、参加者が少なかったのが残念でした。木村のおばあちゃん(木村きくさん)のお世話で立派な稲藁を準備して頂きました。影山さんの指導で楽しみながら、家族に自慢できる愛情いっぱいの飾りが出来ました。

自転車でふらりと見学に立ち寄った見知らぬ方に、出来上がった飾りを一つプレゼントすると、どこかに姿を消してから蜜柑を沢山持って又現れ、お礼に、と置いて行かれました。また、お世話になった木村きくさんにも、お気に入りの飾りを一つ選んでいただきプレゼントしました。とても懐かしがり、気に入って頂いたようでした。



藁多くして人少なし

水田周囲の溝堀と畦作り



生きものを待つ溝

昨年は稲の倒れがありました。対策の一つとして、水田の水落とし効果を上げるために少し深い溝を作ります。同時にこの溝は、水落とし中の水田の生きものに移り棲む場所ともなります。溝作りの土を畦の補強に使い、畦の上を運搬用一輪車が使えるようにし、重い運搬作業を楽にします。また、補強した畦を見学者に公開し、多くの人に米作りを観て頂けるようにしたいと思います。

(才川 寿磨)

手賀沼ウォークに展示参加

11月28日、柏ふるさと公園をメイン会場として開催されました。例年開催されている行事ですが、今年は市政50周年記念行事として盛大に行われました。ビオトープを育てる会では新しく制作した紹介パネルを展示しましたが、今年は特に訪問者が多く、訪れた会員にも手伝っていただいて説明にあたりました。特に、名戸ヶ谷小学校の田植えから脱穀までの写真を見に来る児童や父兄も多く、友達を見つけては大声をあげていました。

また、一度ビオトープを訪れてみたい、と場所を詳しく尋ねる市民も多かったです。(篠崎 将)



説明に力強い援軍

年末のビオトープ大掃除



素人大工も堂に入って

年末の12月18日(土)、ビオトープの大掃除をしました。20名近くの会員が、ごみ拾い、枯れ草刈り、壊れた踏み台の修理などに汗を流しました。おかげでビオトープも清々しい姿で新年を迎えることができました。(佐々木 光正)

お知らせ：

各部会別の所属会員数は現在事務局で整理中です。人数が確定しましたら、次号に組織図と併せて掲載予定です。

尚、広報誌(年6回刊)を希望される方は郵送料その他込みで1000円を添えて事務局へ申し出てください。(広報編集部)

ビオトープの生きもの



ニホンアカガエル カエル目 アカガエル科

体長 34-67mm。平地ないし丘陵地性の種で、山地には少ない。繁殖場所は水の残った水田が最も普通で、そのほか湿原、湿地の水溜りなど、いずれも浅い止水が選ばれる。繁殖期は1-3月が普通。主に昆虫を食べる。卵数は500-2500。本州、四国、九州に分布。千葉県北総地区の絶滅危惧種。



コサギ コウノトリ目 サギ科

全長 61cm 翼開帳 98cm。低地だけでなく山地の水田、湖沼、河川等の水辺に多い。カエル、魚類、ザリガニなどを食べる。繁殖期は4-9月、年1回。一夫一妻。雑木林や林などの樹上に巣をつくる。コサギ、チュウサギ、ダイサギなどの白いサギを総称してシラサギと呼ぶことがある。大津川や手賀沼では最近増えてきている。千葉県北総地区の絶滅危惧種。

(資料提供：篠崎 将)

国際環境シンポジウム2005バンコクに参加して

2005年1月16日、環境シンポジウム千葉会議は、10周年記念行事としてバンコク市民と草の根の環境教育・環境保全活動の国際交流を行い、私は実行委員の一人として参加しました。

折しもスマトラ沖巨大津波直後の訪問であったため、私たち参加者15名は被災者義捐金20数万円を集めてNACA代表のペドロ氏へ直接手渡し、大変感謝されました。



民族楽器で歓迎する小学生

で発表しました。私はビオトープの不耕起稲作について発表しましたが、無農薬、不耕起の田んぼにシラサギが舞い降りている写真を指さすと「おー！」というどよめきが聞こえてきました。

また、最終日の19日にはバンバンカピ小學校で全校あげての大歓迎を受けました。

シンポジウムへのタイ側の参加者は反大気汚染環境保護財団(APEPF)の理事長ビジット氏(元バンコク都知事)、事務局次長のスリスワン氏を始め、ペドロ氏他、環境教育・環境保全活動に関わる市民、学者、学生、生徒たちです。日本側からは地域で環境教育・環境保全活動を行っている千葉県民又は団体の代表者でした。私たちは日頃の活動をA3大の写真で示し、簡単なコトバで補うフォトランゲージという方法で発表しました。私はビオトープの不耕起稲作について発表しましたが、無農薬、不耕起の田んぼにシラサギが舞い降りている写真を指さすと「おー！」というどよめきが聞こえてきました。

発表を終えて日・タイ合同写真



バンコク市は巨大なビルが林立する傍らにブリキ屋根のスラム街が密集し、豊かさと貧困が同居していました。また、チャオプラヤ川を船で北上しましたが、その雄大な流れと両岸に今も暮らす高床式家並みの眺め - それは生涯忘れ得ぬ情景でした。ここが「東洋のベニス」と誇れるように、タイの人々と協力して私たちにできることは何なのか、そんな思いを抱きながら帰国の途に着きました。(春山房子)

編集後記：第3回総会も無事に終わりました。来賓挨拶の中で環境保全課の田村主幹も触れていましたが、名戸ヶ谷ビオトープが独立して2年目を迎える今年はビオトープの今後の発展にとっても大切な一年となります。活動予定にあるように、A・Bゾーンの整備、不耕起田んぼの水落とし水路づくり、木道整備、など作業が目白押しです。作業には人手が必要です。会員のみなさんのご協力をよろしくお願いします。尚、「花だより」に代えて「ビオトープの生きもの」を連載します。 広報編集部(春山)